第18回全日本中学生男女ソフトボール大会群馬県予選会
開催に伴う競技上の注意

１．競技規則

①競技規則は（公財）日本ソフトボール協会、2018年度オフィシャルソフトボールルールによる。

②サスペンデッドゲームを採用しない。

③試合が２試合続く時は、前の試合が終了して３０分後ベンチ入りを原則とする。

２．各試合の選手集合時間

①試合開始予定時刻の３０分前または前試合の４回終了時までに、当該球場に集合すること。

②試合開始予定時刻になっても当該球場に来ていないチームは、棄権とみなす。

３．打順表の記入と提出

①打順表（５枚１組）は、試合開始予定時刻の３０分前、第２試合以降は前の試合４回終了時に当該球場本部に主将が持参し提出する。

なお、打順表（５枚１組）には、控え選手も含めて必要事項を記入すると共に、氏名には必ず姓・名を記入し「ふりがな」を記入する。

②相手チームの打順表は、審判員・記録員による照合確認の上、審判員より受け取ること。

４．試合球

（公財）日本ソフトボール協会検定ゴム製３号球（内外ゴム）とする。

チームより試合当日「３個／日」出すものとする。試合終了後に返却する。

※ロジンバッグについては主催者が準備する。

５．攻守順の決定

①打順表提出時、審判員立ち会いのもとに「コイントス」によって決定する。

②「コイン」の表裏の選択は、先着（打順表持参）チームに優先権を与える。

６．競技者席

①組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。

②ベンチ入りするスコアラーは、公式記録員有資格者とする。

７．フィルディング

①ベンチに入ることを許された監督・コーチ・プレイヤー（ユニフォーム着用）で、後攻チームより５分間とする。なお、大会運営の関係で時間を短縮することもある。

８．競技用具

①バットは、全試合開始前にバットゲージで確認し、規定以外のもの及び危険と思われるものは試合終了まで、当該球場本部席で預かる。（試合終了後受け取ること）

②ヘルメットは、ダブルイヤーフラップ（両耳付き）を使用すること。全ての試合の試合開始前に安全性を確認し、規定以外のもの及び危険と思われるものは試合終了まで当該球場本部席で預かる。（試合終了後受け取ること）

③ベースコーチもダブルイヤーフラップ（両耳付き）を着用することが望ましい。

９．攻守交代並びに選手交代

①攻守交代は、すべて駆け足で敏速に行う。

②選手の交代は、監督が速やかに球審に申し出る。

10．攻守交代時のボール

①特に指示のない場合は、ピッチャーズプレートの近くに置く。

②試合終了時は、審判員に渡す。

11. 抗議

審判員の判断に基づく判定に対し、これに抗議することは出来ない。

但し、ルール１１－２項に限り、監督またはそれに代わる者がこれを質すことができる。

それに代わる者とは、事前に申し出のあった者「監督代行」のことである。

12. 球場入り後の投球練習

①球場内のいかなる場所で投球練習を行うときも、捕手はスロートガード付きマスクと捕手用ヘルメットを着用しなければならない。

②試合中に球場内ファウル地域での投球練習は、バッテリー１組のみとする。

13. 雨天時の連絡

①試合不能の場合は、大会実施本部から各チームに連絡する。

②当日の試合すべてを行わない場合と、天候、グラウンドの状況により試合開始時刻を変更して行う場合があるので、大会本部からの連絡・指示に従うこと。

③小雨決行を前提に行うので、開催可否については、必ず大会実施本部に確認すること。

④雷鳴がかすかでも聞こえたら直ちに試合は中断する。

14. その他

①試合前後のグラウンド整備、試合中のファールボール等は両チームで協力してお願い致します。

②練習は指定された練習場所にて行うこと。

③チーム関係者の車は、必ず指定された場所に駐車すること。（路上駐車は厳禁）

③その他、各大会運営側からの『指示やお願い』等については遵守すること。

④悪天候による試合開始時間等の変更、またはグラウンド復旧作業等の必要が生じた場合は、ご協力をお願い致します。

⑤ビデオ撮影（カメラの連写含む）は、場外の決められた場所からに限る。

※問題（違反・事故・怪我・破損等）が生じた場合は、大会運営側は一切の対応ならびに責任は負わないものとし、全て自己責任において処置すること。

⑥試合時間はあくまでも予定であり、開始が早まる場合がある。前試合の進行状況を把握し、準備をしておくこと。

⑦大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急処置を行う以外主催者側は一切責任を負いません。参加者は各自スポーツ安全保険等の加入と、健康保険証を持参することをお願いいたします。

⑧ゴミは各チームで責任をもって持ち帰って下さい。

⑨チームメンバーおよび観衆は、投手がセットポジションに入ったら、競技に影響を及ぼす声や鳴り物を発してはならない。なお。これは攻撃側、守備側ともに同様である。

⑩チームメンバーおよび観衆は、投手対打者の競技場面において、どちらかに有利に働くような行為や言動をしてはならない。

（１）声や動作による投球コース・球種等の伝達を禁止する。（ゼスチャー・暗号等を含む）

（２）声による相手選手への過度なプレッシャーを与えることを禁止する。（ヤジを含む）

⑪チームメンバー及び観衆は、いかなる場面においても、審判や相手のメンバー、または観衆等に対して、野次や暴言は一切言ってならない。

14. 大会実施本部連絡先

群馬県ソフトボール協会

中学生クラブ委員会

委員長　西脇　雅宏　　090-4938-4761